



情報モラルに関する最新事例・事件集

詐欺の手口

LINEで乗っ取り詐欺	2014年頃から、LINEのアカウントを乗っ取ってなりすまし、そのアカウントの家族や友だちに電子マネーなどを購入させ、だまし取る詐欺が起きた。
ペニーオークション詐欺	2012年、芸能人がブログなどで、入札に手数料がかかるペニーオークションサイトの体験談を載せていた。しかし、そのサイトは実際には商品を譲り落とせないしくみになっており、記事を投稿した芸能人はサイトの運営者から金銭を受け取っていた。

コンピュータウイルス／不正アクセス／情報漏洩

パソコン遠隔操作事件	2012年、掲示板を介してトロイの木馬タイプのプログラムを仕込み、他者のパソコンを遠隔操作して殺人予告などを書き込ませる事件が発生。踏み台にされた人たちが誤認逮捕された。
SNSのユーザ情報流出	2013年、Twitterのユーザ情報25万件が不正アクセスにより外部に流出した可能性が報告された。Twitterでは流出した可能性のあるユーザに対し、パスワードの再設定を行うようメールで通知した。
ショッピングサイトで情報流出	2013年、コンビニのネットショッピングサイトで不正アクセスがあり、15万件以上の顧客のクレジットカード情報が流出した可能性が報告された。
通信教育の名簿流出	2014年、通信教育サービスの企業が保有していた個人情報を含む2000万件以上の顧客情報が内部から持ち出され、名簿業者に転売されていたことが発覚した。
コンピュータウイルスを販売	2015年、インターネットバンキングでの不正送金などに悪用できるウイルスを作成し、掲示板にそのウイルスを販売することを書き込んだ中学生が逮捕された。

炎上／誹謗中傷

インターネット上での名誉毀損	2009年、お笑いタレントのブログに、殺人事件の犯人などと事実無根の書き込みを繰り返していたユーザ、19人が名誉毀損などで起訴された。ブログの炎上で一斉検挙になったのは初めてのケース。
危険行為を自慢して炎上	2013年、大学生がテーマパークで危険行為をはたらき、アトラクションを止めるなどの営業妨害をしたことをTwitterで投稿した結果、炎上した。
バイトテロ	2013年、コンビニのアルバイト店員が店の冷凍庫に全身を入れた画像をSNSに投稿し、炎上。このコンビニは閉店することになった。この時期、「バイトテロ」とよばれる同様の事件が相次ぎ、社会問題となった。
リベンジポルノ	過去に交際した恋人などとの関係がこじれた結果、相手への復讐の手段としてスマホなどに保存されているプライベートな写真や動画などを、インターネット上で不特定多数の人に公開する嫌がらせ行為が問題になっている。

著作権

動画共有サイトに無断投稿	2010年、週刊誌の人気漫画をYoutubeに無断でアップロードしていた中学生が逮捕された。
ファイル共有ソフトで違法アップロード	Shareなどのファイル共有ソフトを使って漫画やアニメ、ゲームなどのコンテンツを違法にアップロードし、逮捕される事件が相次いでいる。
自炊代行に差し止め判決	2013年、自炊代行業者に対し小説家などが作品の複製差し止めを求めている訴訟で、東京地方裁判所では業者側に複製差し止めと賠償金を支払うことを命じた。

デマ／捏造／情報操作

公式アカウントになりすまし	2013年、LINEのTwitter公式を名乗るアカウント（なりすまし）から、「明日でサービスを終了する」という投稿が行われた。これが拡散し、LINEの利用者の間で混乱が広がった。
人気番組でもやせが発覚	2013年、おもしろい異色対決が人気のテレビ番組で、実際の対決結果とは異なる内容の映像を放送していたことが出演者の告発で明らかになり、番組が打ち切りになった。

その他

ホームページでQ&Aサイトでカニニング	2011年、大学入試の実施中にその入試問題をQ&Aサイトに投稿し、解答を得ていた不正行為が発覚。大学から偽計業務妨害で被害届が出された。
ICカードの利用者情報を無断で販売	2013年、鉄道会社がICカード乗車券の利用者情報を無断で販売していたことが判明。
ドローンでの撮影	2015年、無人航空機のドローンを使って祭のようすを空中から撮影することを試みた中学生が逮捕された。落下して人に危害を加える恐れがあると、警察が何度注意しても強行したためとされる。
中高生専用アプリがサービス終了	2016年、中学生・高校生専用のSNS・動画アプリの運営担当者が、マナー違反をしたユーザの氏名などをTwitter上に公開したことが問題になり、サービスが終了した。